

あけましておめでとーございます  
この一年が、昨年にも増して明るく  
健康で過ごされますことを



## 「こんな時代だからこそ、夢を持って」

瀬棚町長 平田泰雄

新年あけましておめでとーござい  
ます。

町民皆さんには、希望に満ちた新しい  
年をお迎えのことと心からお慶び申し上  
げます。

この一年が、昨年にも増して明るく健  
康で過ごされますようお祈りいたします  
とともに、日頃、まちづくりにお寄せい  
ただいておりますお力添えに対しまし  
て、心から感謝とお礼を申し上げます。

### 平成15年を振り返り

恒例の昨年を象徴する世相漢字の上位  
は、また「戦」「乱」。年頭に明るく健や  
かな一年を思い描きスタートした昨年  
も、米スペースシャトルの爆発事故には  
じまり、韓国地下鉄火災、新型肺炎（S  
ARS）の流行、イラク戦争開戦、そし  
て国内では10年ぶりの冷夏によるコメの  
不作や台風10号による日高管内の大被害

など、国内外問わず暗い話題が多い一年  
でした。来年こそは、明るい話題が多く  
なることを願っています。

さて、瀬棚町の一年を振り返りますと、  
四月には医科診療所に吉岡先生を迎え念  
願の医師二人体制となり、生活支援ハウ  
スの整備とあわせ保健医療、福祉の充実  
が図られるものと期待しております。30  
回目を迎えた漁火まつりは、生憎の天候  
でしたが、新しい試みも見られました一つ  
その歴史が刻まれました。新たな取組み  
も多くありました。ひやま漁協瀬棚支所  
養殖部会のアワビ直売所開設、学童保育  
所の開設、一昨年町民皆さんの手作りで  
完成しました夕陽が丘パークゴルフ場  
の第一回町民交流大会の開催、そして高  
速インターネット回線「ADSL」の開  
通に至るまでの熱意と行動力は、まちづ  
くりには欠かせない大きな力となるものと  
感じております。

すっかり夏の風物詩となりました朝日  
山部屋の夏合宿が二年ぶりに行われまし  
たが、昨年の九州場所で幕下優勝を飾り  
ました「大真鶴」が十両に昇進、朝日山  
部屋悲願の関取が誕生しました。これか  
ら皆さんの温かいご支援をお願いしま  
す。

新しい農業の形を目指す農業特区の取  
組みが始まりました。瀬棚から発信する  
大きな試みに期待しております。

そして昨年の最大の話題は、町民皆さ  
んから大きな期待とご理解をいただきな  
がら進めてまいりました日本初の洋上風  
車「風海鳥」の完成です。本年四月の本  
格稼動を前に、日本海に悠然と立ち誇る  
2基の風車が、瀬棚の新しいシンボルと  
して限らない可能性を活かし、町民皆さ  
んの夢を乗せ新しい風となって希望のあ  
る明日に向かって回り続けることを願っ  
てやみません。

### こんな時代だからこそ夢を持って

政府の構造改革基本方針いわゆる「骨  
太の方針」の柱であります国と地方の税  
財政を見直す「三位一体」改革の方針が

示され、地方交付税の削減など私たち小  
規模自治体の財政運営は一段と厳しさを  
増しております。このことが「市町村合  
併」推進の全国的な流れとなっておりま  
す。こうした大きな歴史の転換期にある  
今、私たちが考えなければならぬのは、  
財政面だけを見るのではなく、町の将来  
像をどう持つかということだと思いま  
す。

先の地方制度調査会の最終答申では、  
小規模自治体のあり方に関し法の下に合  
併せざるを得ない大変厳しい内容が示さ  
れました。

今まさに合併の是非が問われておりま  
す。いずれかの判断をするうえで大切な  
ことは、合併するか否かではなく、将来  
の豊かな瀬棚町をつくるための将来像を  
しっかり持つこと、この試練を乗り越え  
るための大きな夢を持ち続けることだと  
思います。

そのための資料を作成し、町民皆さん  
とともに瀬棚の未来を築いて参りたいと  
思いますので、これからも一層のご理解  
とご協力をお願い申し上げ、年頭のごあ  
いさつといたします。

# 安心を共有して希望をかなえよう

瀬棚町議会議長 柳田 眞

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。平成16年の年頭にあたり瀬棚町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、ご家族おそろいで、ご健勝にて新しい年を迎えられましたことに心からお喜び申し上げますとともに、平素の瀬棚町議会に對しましての深いご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、顧みます平成15年は、基幹とする一次産業の喜びにわく声や言葉は耳にすることはなく過ぎたように思われて残念と申し上げるしかございません。そんな中、国内初の洋上風力発電設備が本年4月の本格稼働に向けて試験運転が始まり、四方からの風を受けて羽が回る様子は力強く、希望に満ちているような気がいたします。

一方、地方分権社会に入ったとされて3年が過ぎた今は、市町村合併という暴風が吹き荒れる毎日であり、この暴風から我が町という「身」を守るための最善の方法を見出すために私たち議会も「合併問題調査特別委員会」を設置して、行政とともに、歴史と伝統ある瀬棚町と町民の皆さんが百年の計に立って、安心の共有と希望がかなえられるまちづくりのために、先輩たちが苦難と戦ってきた姿を

教訓として、知恵を出し合い、合併問題に最大の取り組みをしなければならぬことであり、まさに「1年の計は元旦にあり」として、町民皆さまの信頼の中で、最終の意思決定機関としての責任の重大さを肝に銘じながら新たな決意をもってこの難題に立ち向かっていかなければならぬと考えております。

このように、地方議会の使命、役割がますます重くなるときに、私たち議員の任期もあと4ヵ月ほどとなりました。改選におきましては、これまでの14人から12人となります。今後ともに研鑽を積み上げて、目まぐるしい社会情勢を適格にとらえながら、幾多の諸問題に取り組んでまいります。

平成16年が皆様にとりましてご健勝であり、幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。



# 「せたなっ子」の健やかな成長を願う

瀬棚町教育委員長 工藤芳江

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより児童生徒の健全育成につきまして、地域の皆さまのご支援やご協力に對しまして心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年までの2年間、子どもたちは新学習指導要領をもとに総合学習を踏まえ、自ら考え判断し行動する「生きる力」が身につくようまた、学習意欲も高まり、物ごとへの関心を持てる「かかわる力」が強まるよう指導されてきておりました。瀬棚町としても教育目標を掲げ、めざす「せたなっ子」の人間像に育むよう各学校が一丸となって教育の実践に取り組む、地域の特性を生かし、地域に合った学校教育を行っているところであります。

都市では学力や基礎体力のほか、運動能力の低下、また学習意欲の低下など、子供たちの諸問題が指摘されており、中央教育審議会では昨年10月、学力重視の学習指導要領の見直しを答申されました。瀬棚町においても昨年、PTA連合会研究会で学力問題も含め、子どもの教育についてさまざまな角度から、語り合いがなされ、有意義な研修が行われました。

父兄の皆さんにおかれましては自分の子どものことを話されたり、ほかの子どものことも伺いできる最良の場と思われしますので、一人でも多くの方々の参加を願うところであります。

また、昨年球界では18年ぶりに阪神タイガースが優勝し、日本中が沸きました。子どもたちはこうした選手の闘志からも、くじけず、粘り強く頑張る力、最後までやりぬく力を学ばれたものと思います。何ごとにも自発的に進んで取り組み、日々の努力の積み重ねに堪え、郷土を愛し、大きな夢を持って未来に向かって欲しいと願っております。

子どもたちの教育は、家庭教育が基礎となり、さらに学校教育と社会教育が一体となることが望ましく、家庭でつけられ、学校で学んで社会で育っていったるものと思われたい。たくましく、心豊かな「せたなっ子」の健やかな成長を願い、家庭、学校、地域の連携により、子どもたちの成長を見守っていかなければならないものと思っております。

今年も皆さまのさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成16年は皆さまにとって最良の年でありますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。